

平成26年度 展覧会 熊野古道なかへち美術館

「紀伊山地と霊場と参詣道」がユネスコの世界遺産に登録されてから、今年で10周年を迎えます。熊野古道なかへち美術館はこの1年間、当地「熊野」をテーマにして展覧会を開催します。

生誕110年記念 渡瀬凌雲 熊野

4月19日（土）～6月22日（日）

休館日：毎週月曜日（ただし5月5日は開館）

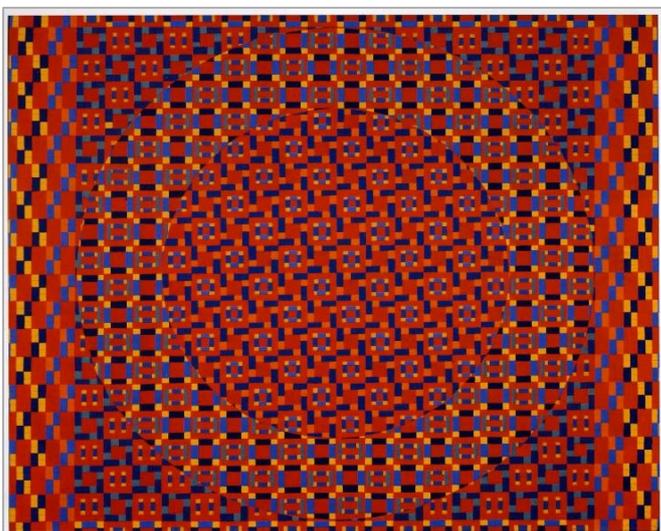
4月30日（水）・5月7日（水）

観覧料：250円

主 催：熊野古道なかへち美術館



京都を拠点にしながらも、生涯にわたって吉野・熊野を題材にした作品を描き続けた当地ゆかりの画家、渡瀬凌雲。作品と関連資料を通じて、画家の見た熊野をあらためて紹介します。



生誕110年記念 脇村禮次郎コレクション 美—自由へのあこがれ

7月19日（土）～9月23日（火・祝）

休館日：毎週月曜日（ただし7月21日・9月15日は開館）

7月22日（火）・9月16日（火）

観覧料：250円

主 催：熊野古道なかへち美術館

特別協力：公益財団法人 脇村奨学会

脇村禮次郎は1904（明治37）年、田辺市で山林業を営んでいた脇村市太郎の次男として生まれました。実業界で活躍するかたわら、永年にわたって収集した文人画・抽象画のコレクションは没後田辺市立美術館に寄託され、その開設と運営に大きく寄与してきました。

本年の生誕110年を記念し、脇村禮次郎の審美眼を通じて収集されたコレクションを、ゆかりのあった当地で紹介します。

美—自由へのあこがれ
生誕110年記念 脇村禮次郎コレクション
2014.7.19(土)～9.23(火・祝)

開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休 館 日 月曜日（ただし7月21日、9月15日は開館）7月22日（火）9月16日（火）
観 覧 料 250円（200円）、学生および18歳未満は無料

主 催 田辺市立美術館分館、熊野古道なかへち美術館
特別協力 公益財団法人 脇村奨学会

田 辺 市 立 美 術 館 分 館
熊 野 古 道 な か へ ち 美 術 館
K U M A N O K O D O N A K A H E C H I M U S E U M

平成26年度 展覧会 熊野古道なかへち美術館

没後50年 野長瀬晩花—晩花の流儀—

10月25日（土）～12月7日（日）

休館日：毎週月曜日（ただし11月3日・11月24日は開館）

11月4日（火）・11月25日（火）

観覧料：250円

主 催：熊野古道なかへち美術館

本年は当地出身の画家、野長瀬晩花の没後50年にあたります。これを機にその異色とされた表現をあらためて見直します。



森に棲む 色・音・形

平成27年1月24日（土）～3月15日（日）

休館日：毎週月曜日・2月12日（木）

観覧料：250円

主 催：熊野古道なかへち美術館

熊野の森とそこに棲むものをテーマに、紙彫刻作家の谷内庸生と、映像作家のCOYOとのコラボレーションで表現します。展示室全体が森を体感する空間となります。

世界遺産登録10周年記念LIVE

石田多朗×勅使河原一雅

音楽と映像による作品

森羅万象の踊り

平成27年3月29日（日）

主催：熊野古道なかへち美術館



音楽担当
石田多朗

映像担当
勅使河原一雅



世界遺産登録10周年記念LIVEとして、石田多朗さんと勅使河原一雅さんによる「熊野」をモチーフにした作品（音楽・映像）を鑑賞していただきます。

石田多朗（いしだたろう）さんは、これまで作曲を中心にエレクトロニクスによる演奏活動から映像音楽の制作や展覧会の空間音響などを手掛け、勅使河原一雅（てしがわらかずまさ）さんは、映像作品の制作や美術演出、様々な音楽家とのコラボレーションを行い、ユニークな作品を国内外で発表される等、お二人はそれぞれに美術館や数々の展覧会で作品を発表し、高い評価を得ています。

今回は熊野を背景に、美術館をステージとしたお二人の新しい作品が発表されるという機会となります。また、作品や制作等についてのお話もあります。